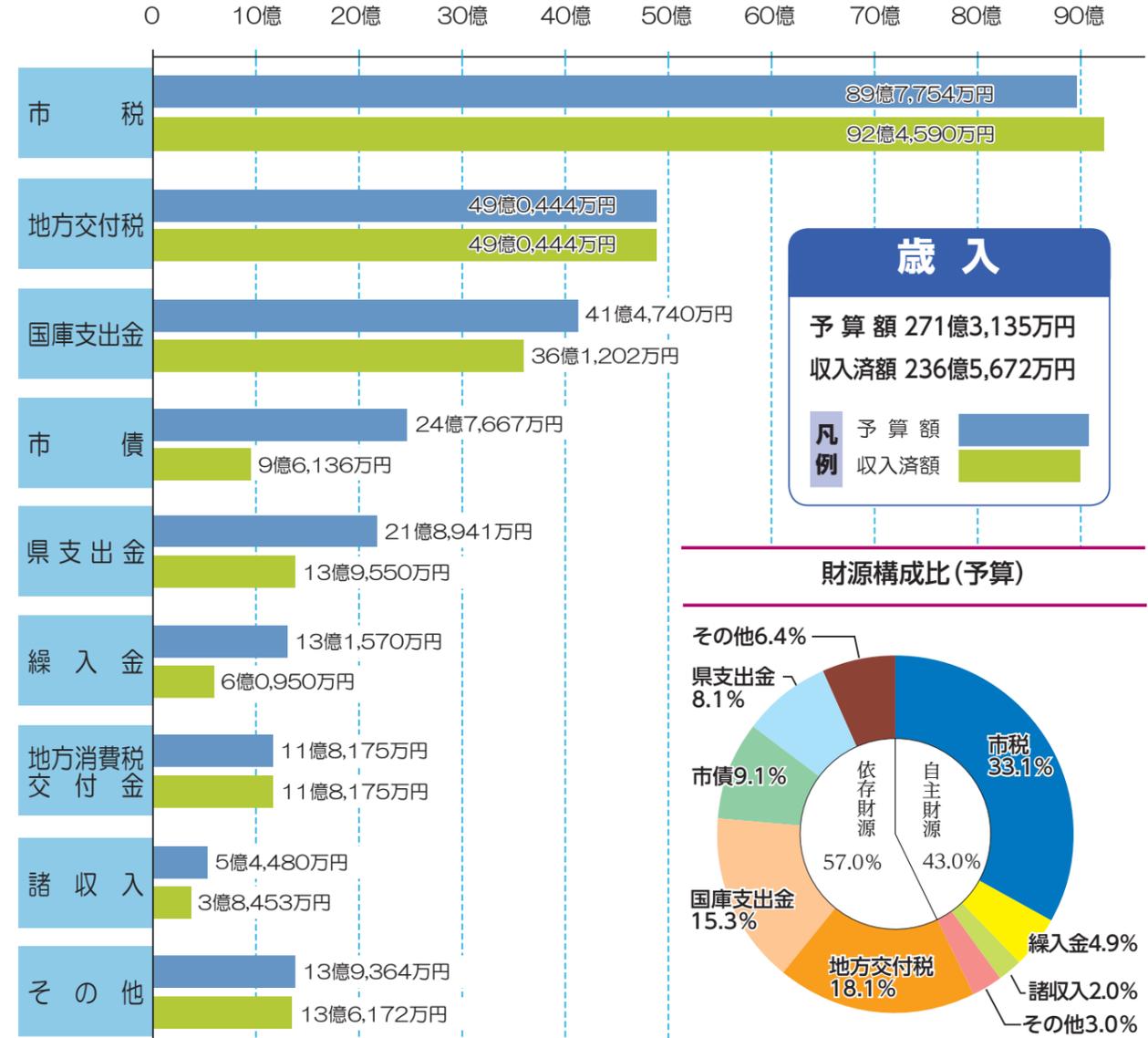
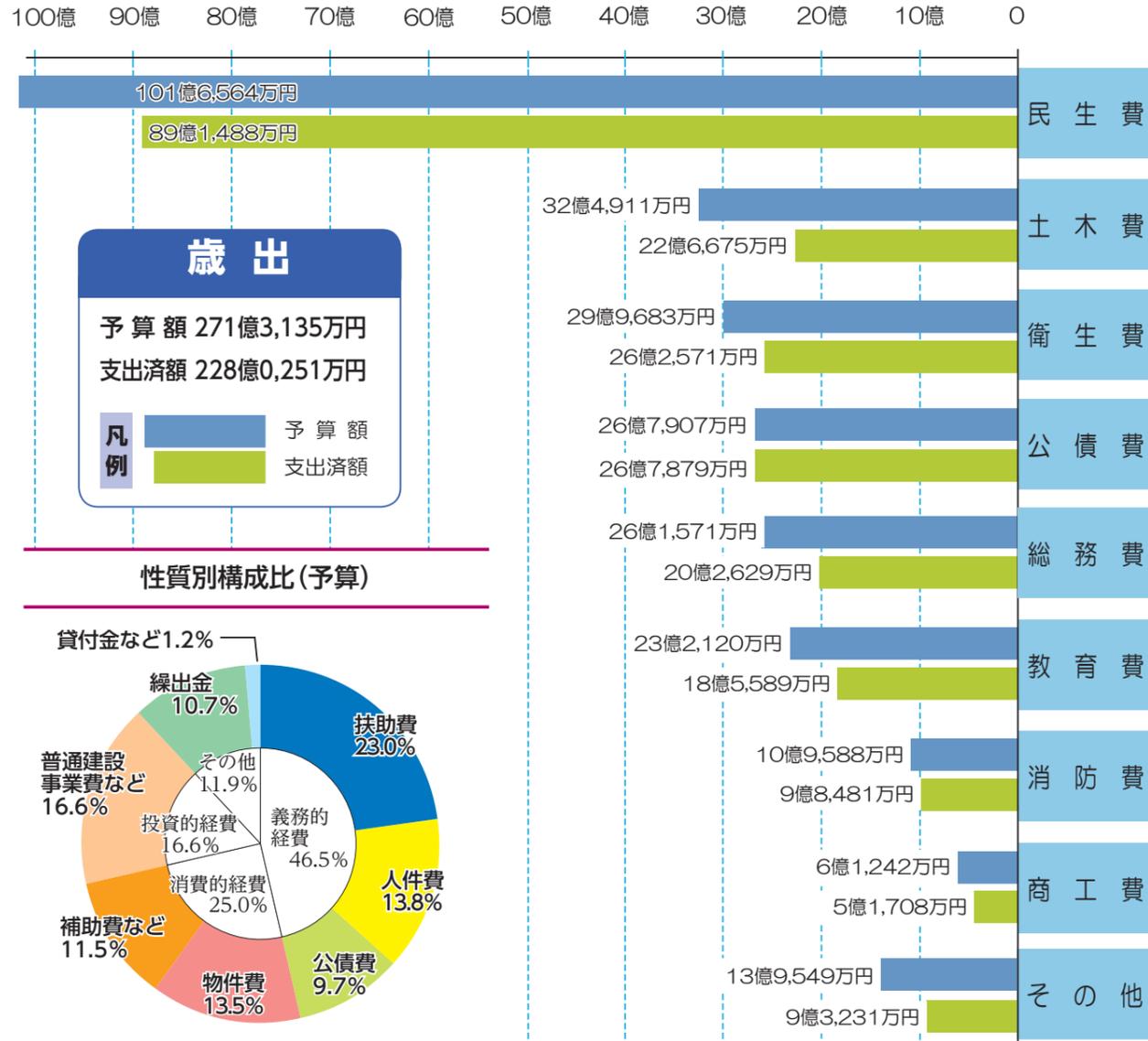


市の財政状況を

お知らせします

令和元年度
3月31日現在



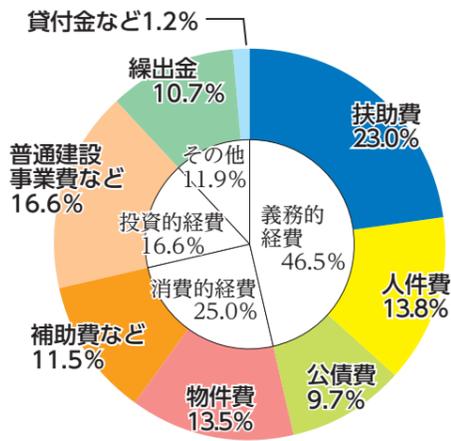
歳出
予算額 271億3,135万円
支出済額 228億0,251万円

凡例 予算額 (青) 支出済額 (緑)

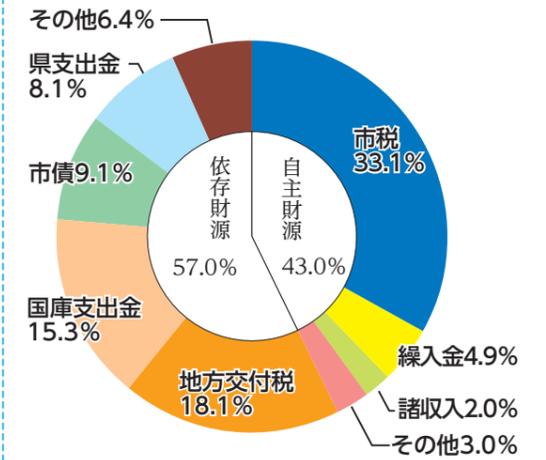
歳入
予算額 271億3,135万円
収入済額 236億5,672万円

凡例 予算額 (青) 収入済額 (緑)

性質別構成比(予算)



財源構成比(予算)



市が持っている財産

土地(山林を除く)	256万5,113.68㎡	山林	376万3,492.00㎡	基金(現金)	74億9,376万円
建物	23万4,377.98㎡	出資金	20億5,974万円	基金(土地)	1万3,780.16㎡

市が抱えている負債

負債の現在高 469億9,207万円 市民一人当たり 72万4,963円

一般会計	201億6,682万円	下水道事業	51億8,976万円	水道事業	53億0,843万円
介護老人保健施設	1億7,614万円	特定地域生活排水処理事業	5,936万円	国民健康保険鬼石病院事業	4億4,053万円
住宅新築資金等貸付事業	0万円	簡易水道事業等	5,924万円	一部事務組合(市負担分)	155億9,179万円

一般会計の状況

令和元年度一般会計の予算は、当初258億5000万円でしたが、その後、緊急で重要な事業を実施するための補正を行いました。繰越明許費を含めた最終予算額は、271億3135万円です。

主な事業では、高齢者運転免許証自主返納支援事業など高齢者施策の充実、藤岡インターチェンジ西産業団地関連事業など企業誘致の推進、防災公園整備事業、消防ポンプ車購入事業など市民の安全安心と消防防災体制の強化、通学路防犯カメラ設置事業、小中一貫教育推進事業、コミュニティスクール事業、小中学校体育館改修事業、公民館大規模改修事業など地域と一体となった教育環境の整備を実施しました。

また、新型コロナウイルス対策として、感染予防を図るためのマスクなどの購入や小学校の臨時休校に伴う学童保育所の対応などを実施しました。

執行状況は、令和2年3月31日現在で、収入済率87.2%、支出済率84.0%です。

※繰越明許費：予算成立後、なんらかの理由で年度内に支出の終わらない見込みがある経費を、議会の議決を得て翌年度に繰り越して使用することができる予算

問い合わせ 財政課(☎2821)